

# 千葉商工会議所景気動向調査

令和5年5月調査結果

令和5年6月

千葉商工会議所

# 千葉商工会議所景気動向調査

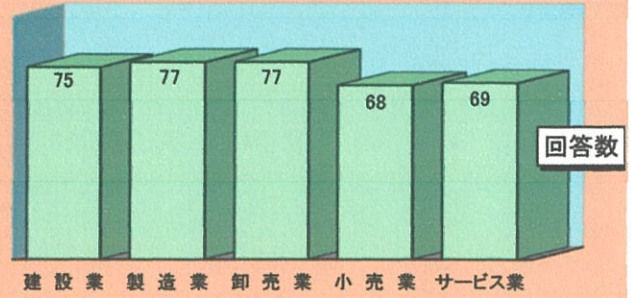
## ……令和5年5月調査結果報告……

調査期間：令和5年4月25日(火)～5月19日(金)

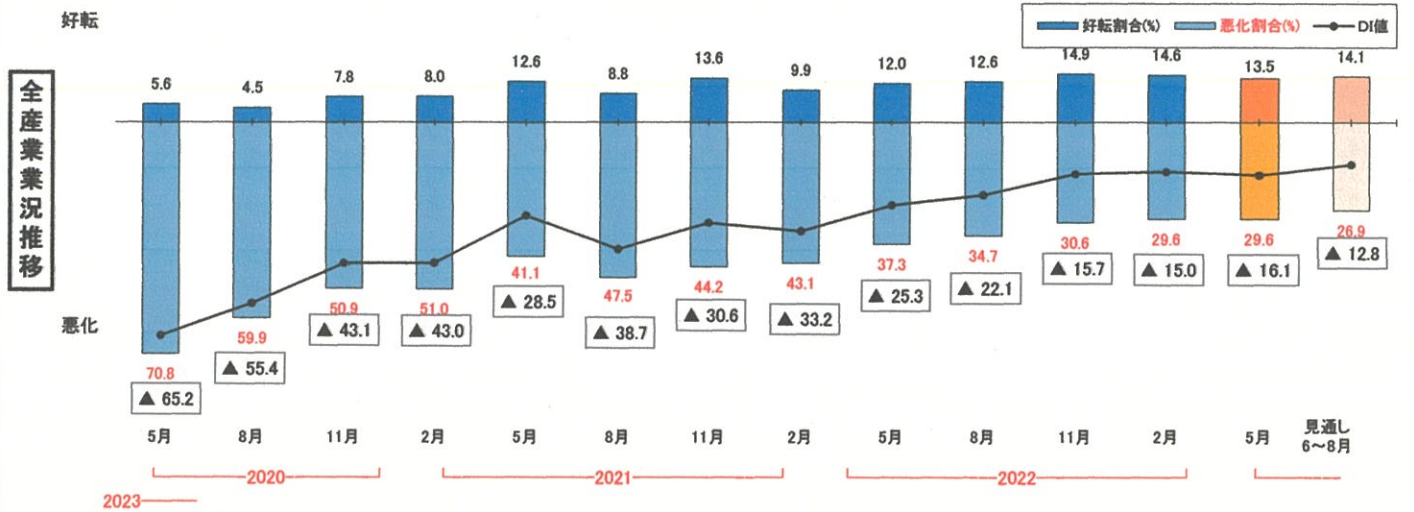
調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社  
(回答 366社 回答率 73.2%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。  
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



建設業 製造業 卸売業 小売業 サービス業



### 【全体の特徴】

(▲はマイナス)

業況DI(前年同月ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(令和5年2月、以下同じ)と比較して、製造業、卸売業、サービス業が下降し、建設業、小売業が上昇した結果、全産業合計DIは1.1ポイント下降して▲16.1となり、5期ぶりの悪化となった。

また、向こう3ヶ月(6月～8月、以下同じ)の先行き見通しは、卸売業が下降し、建設業、製造業、小売業、サービス業が上昇の見込みとなっており、全産業合計DIは現状より3.3ポイント上昇の▲12.8となっている。

売上DIでは、前回調査と比較して、建設業、製造業、サービス業が下降し、卸売業、小売業が上昇した結果、全産業合計DIは2.2ポイント下降して▲1.9となり、2期連続で悪化となった。

採算DIでは、前回調査と比較して、建設業が下降し、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは7.5ポイント上昇して▲17.1となり、2期ぶりの上昇となった。

仕入単価DIでは、前回調査と比較して、製造業、小売業が下降し、卸売業、サービス業が上昇、建設業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは▲80.0となり、3期ぶりの上昇となった。

従業員DIでは、前回調査と比較して、建設業、卸売業が下降し、製造業、小売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは24.5となり、2期連続の上昇となった。

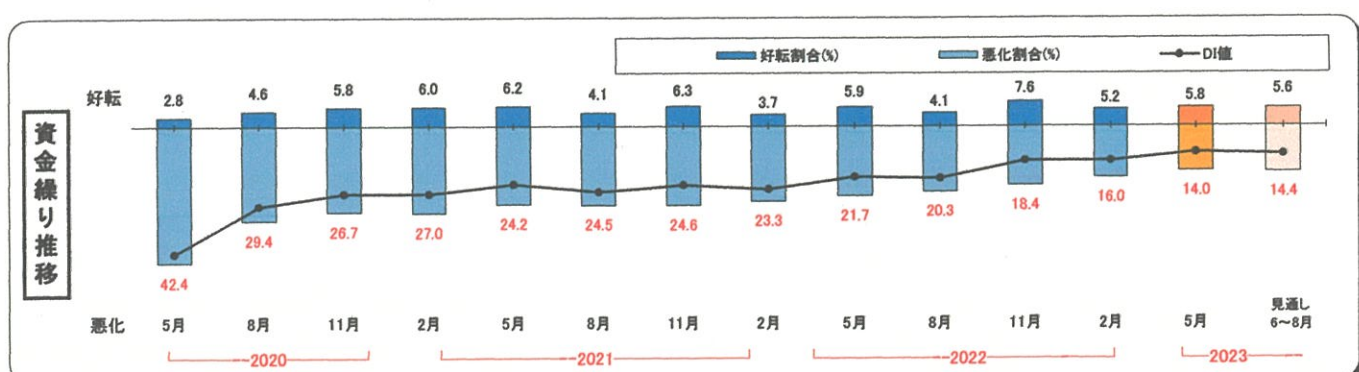
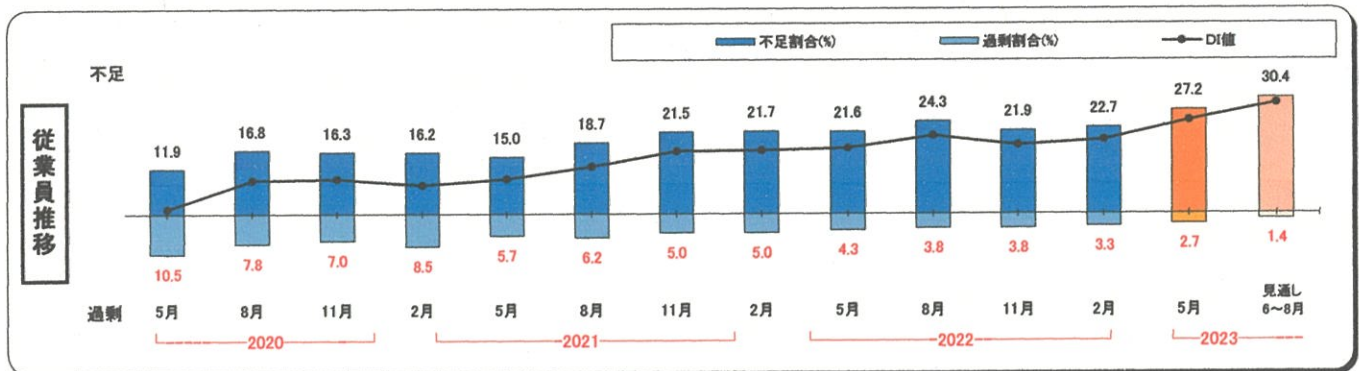
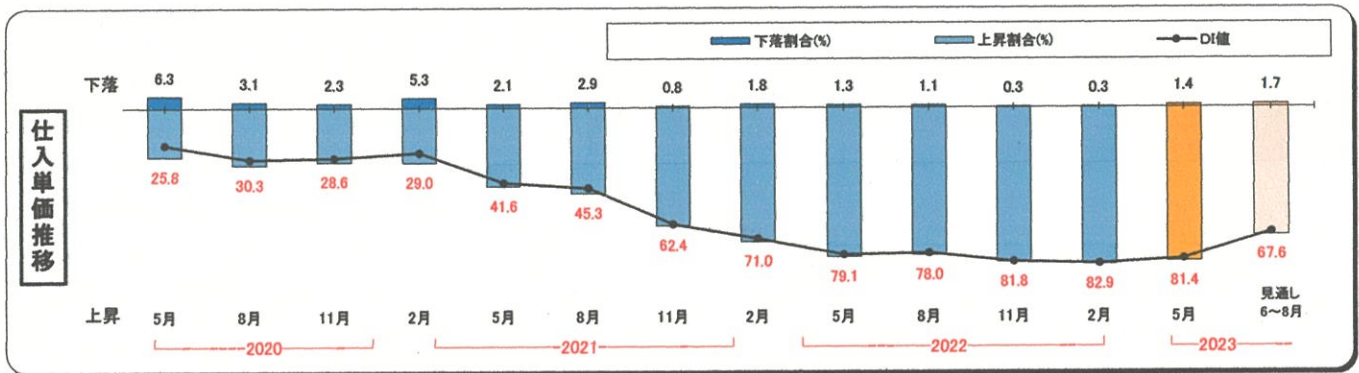
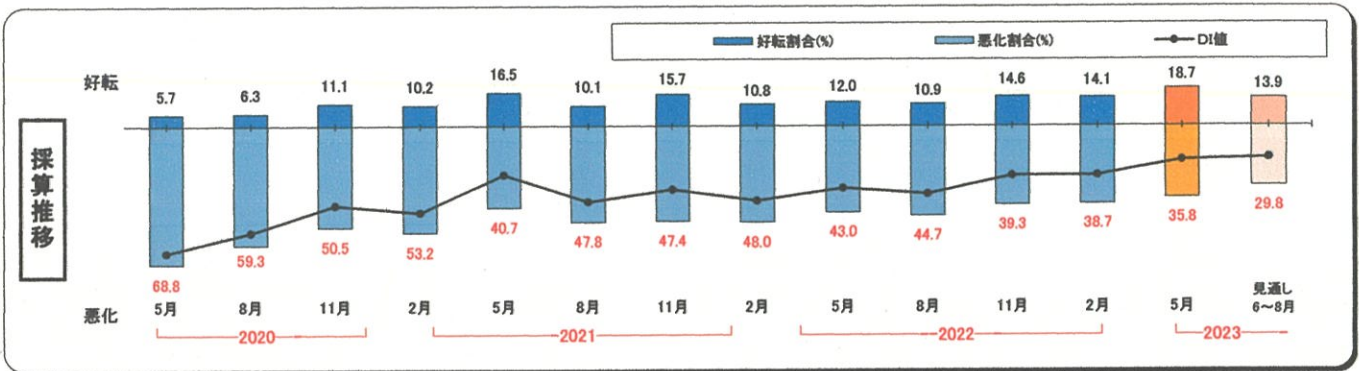
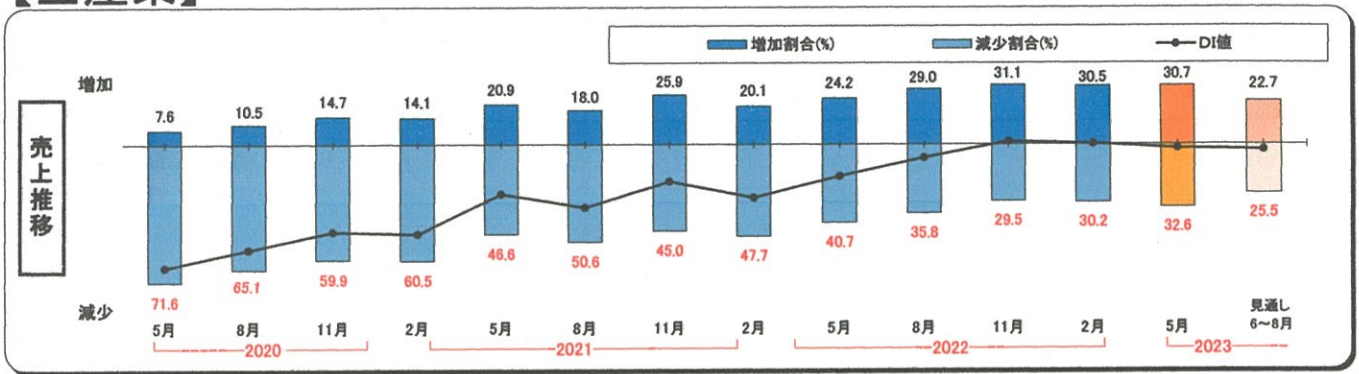
資金繰りDIでは、前回調査と比較して、小売業が下降、建設業、製造業、卸売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは▲8.2となり、2期ぶりの上昇となった。

### 【調査結果のポイント】

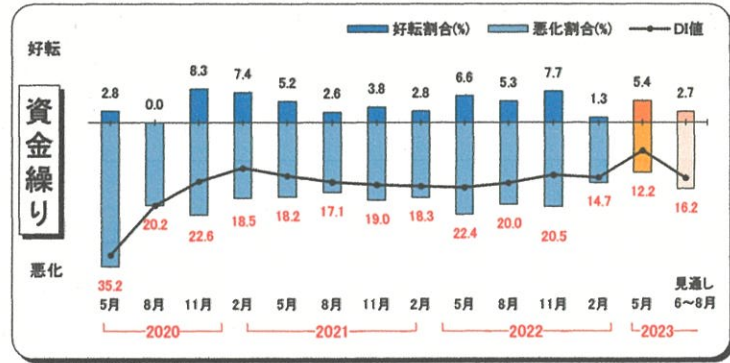
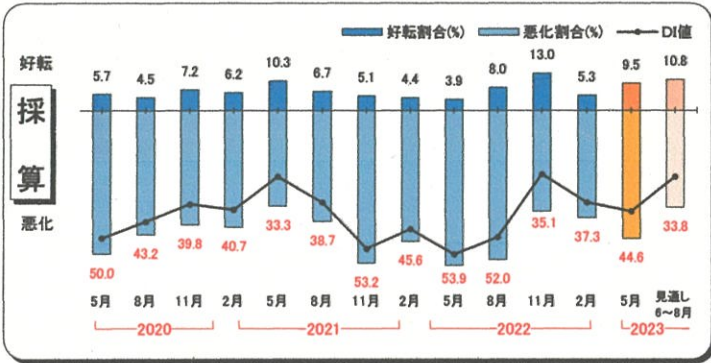
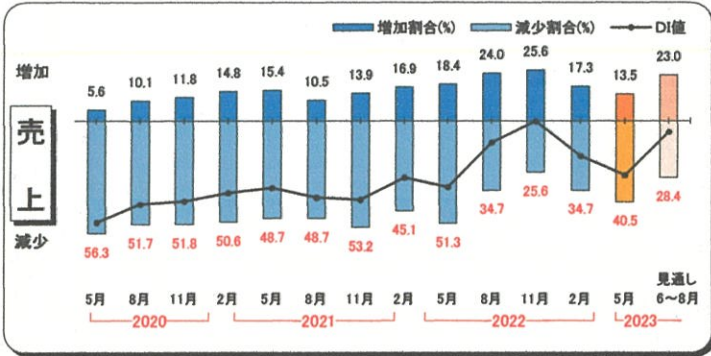
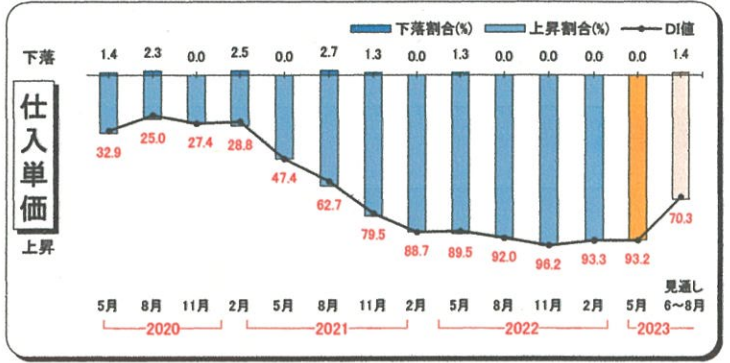
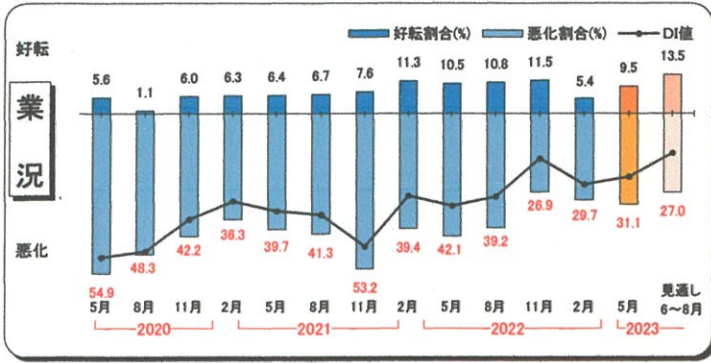
- 業況DIは、仕入価格の高止まりや燃料費などの高騰により5期ぶりに悪化したものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の更なる回復への期待から先行き見通しは改善
- コスト上昇分の価格転嫁について、全て価格転嫁できている企業は13.8%にとどまり、多くの事業者が十分に行えていない



# 【全産業】



# 【建設業】①



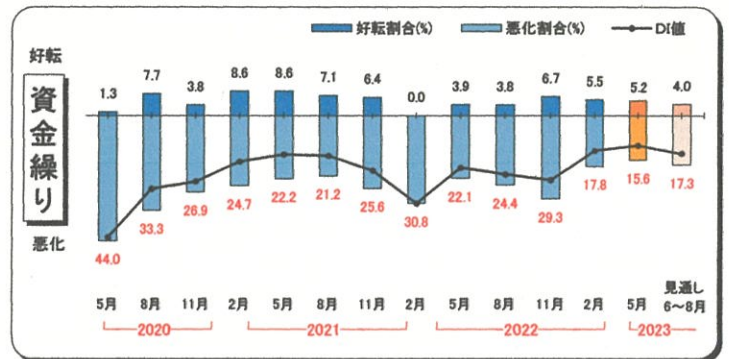
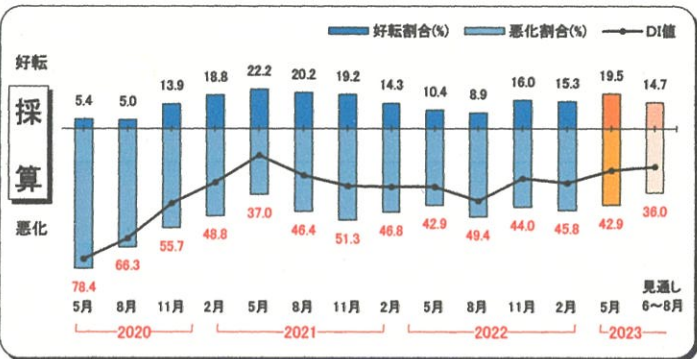
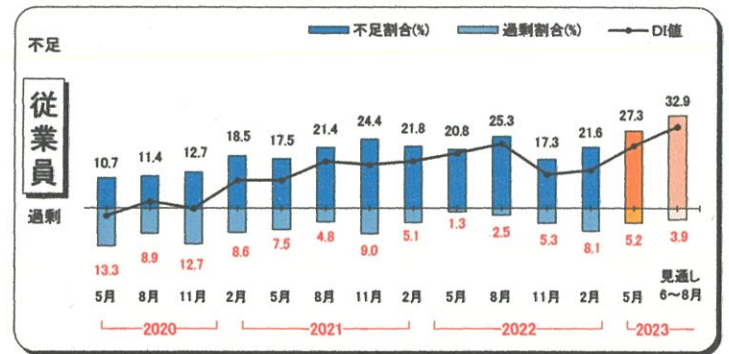
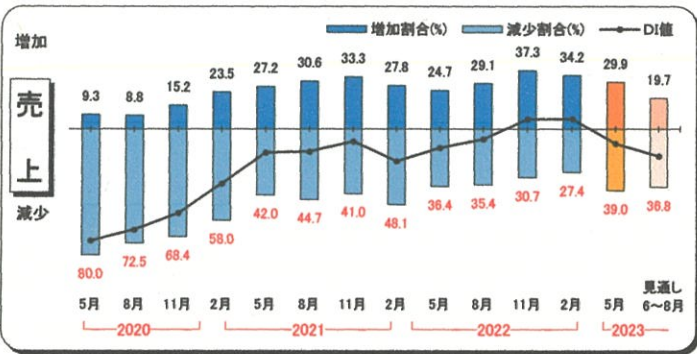
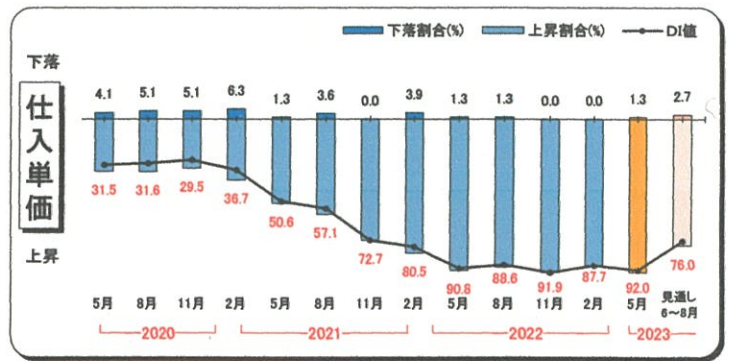
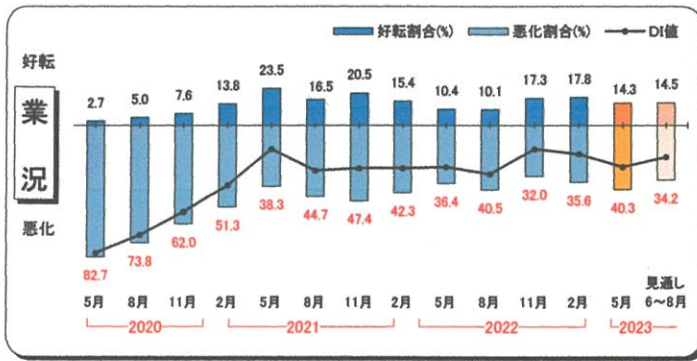
## 【建設業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

土木建築工事業	中小企業のためにもう少し考えてほしい。大手企業が中小企業の仕事を取ってしまっている。ハウスメーカーが単価を上げてくれない。
一般土木建築工事業	もっと働けるように、働き方改革の見直しを希望。
一般土木建築工事業	建設業界は全て下請けに背負わせる昔ながらの風潮が変わらない。ベースアップなんて行えるわけがない。スーパーゼネコンがベースアップ、材料費の高騰、発注者からの値下げ交渉の負担は全て下請けである。建築・土木関係の値下げのたたき合いは数年後に甚大な影響が出ると思う。
造園工事業	少子高齢化により労働生産人口が減少するなか、10年後や20年後の会社のビジョンを今から考えると、10代や20代の採用がますます大変になると思う。また、65歳以上でも出来るような小さな仕事を考え、フルタイムで働かなくとも手伝ってもらう事で、社会に貢献しているという実感を持ってもらえるように考えていきたい。
とび工事業	燃料高騰や物価高騰が中小企業において転嫁できない状況である。建設業において、「取決め」という請負金額を総額で決められるとその範囲で工事を進めなければならない、高騰した経費があっても反映できない。そのような状況を国や行政が理解しているのか疑問である。以上について早急に解決策を見出してほしい。
板金工事業	原材料の高騰が続き、かつ元請の建築会社から値下げの要求があり、泣く泣く仕事をせざるを得ない。仕事を回さないといけないが、かなり厳しい。国・県より支援等をしてもらいたい。
一般電気工事業	原材料費を適正価格で見てもらいたい。
一般管工事業	インボイス制度がよくわからない。税金は上がるし、売上が一定で良いわけではなく、利益が出ない中で賃上げと言われても、ほとんどの中小企業は賃上げをしてあげたくても難しい。



# 【製造業】①

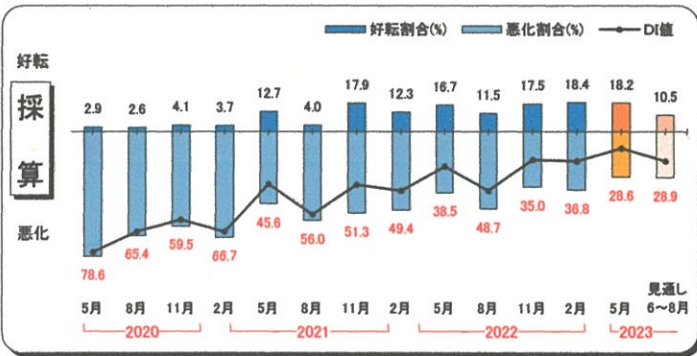
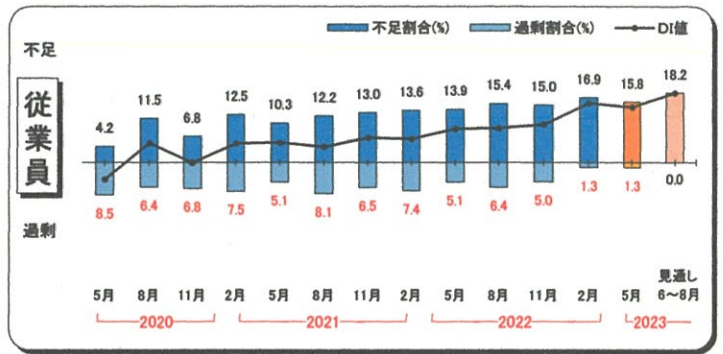
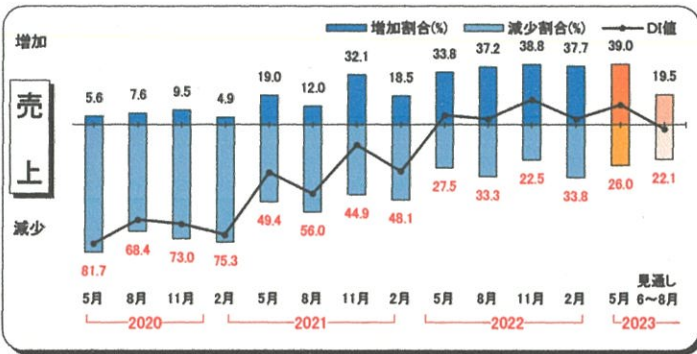
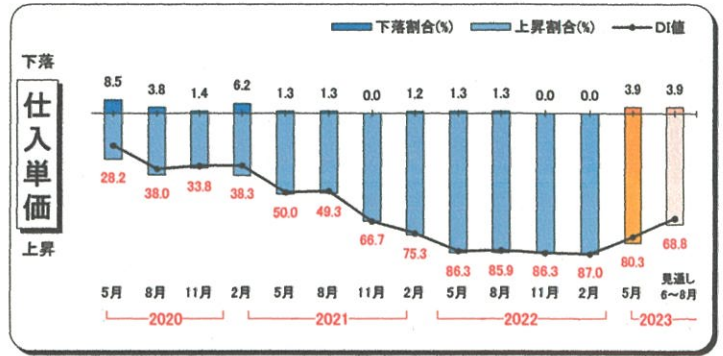
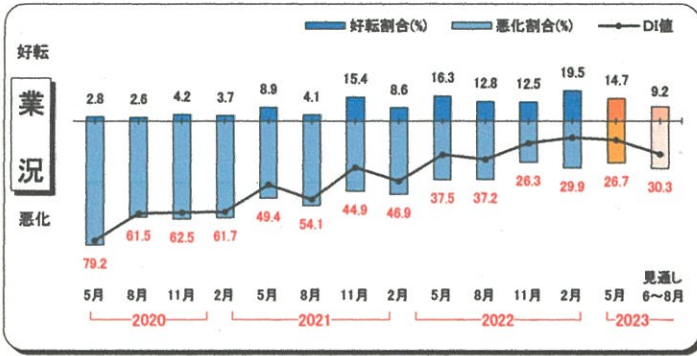


## 【製造業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

オフセット印刷業	インボイス制度はもちろんのこと、消費税そのものを廃止してほしい。
オフセット印刷業	コロナ融資の利息支払いが始まるので、その対策と支援をお願いしたい。
オフセット印刷業	社会全体で値上げを受け入れて次のステージへ皆で登り詰める状況を醸成していただきたい。
製本業	なるべく地元の業者に仕事を発注して頂きたい。
化学工業製品製造業	下請けGメンの効果が少なからずあるように思う。できれば県の垣根を越えて国全体で四半期ごとに実施する位の頻度でお願いしたい。
コンクリート製品製造業	国や自治体に、中小企業にも積極的に賃上げに動けるような環境を整えてほしい。
表面処理鋼材製造業	現状に合った単価で考えて欲しい。
生産用機械・同部品製造業	各種補助金等、支援制度はあるが手続が繁雑で、業者に依存しなければ通らない。
生産用機械・同部品製造業	千葉県内の採用活動は他県に比べ困難であると感じている。県外事例としては、県から出ないまでも地元から離れて働きたい等、県内事例としては都内就職や進学希望・大手企業への就職（故に大手有利）・通勤圏内（30分以内）への就職希望等、全体的には少子化や売り手市場の加速・工業系職種の不人気さから応募率が低い等がある。業績に関しては、物価や労務費は高騰するも客先から下請である当社への支払は不変もしくは減少しており、業績悪化となっている。一方、介護業界なども人手不足で現場が逼迫しているという話もある。千葉県内での人手不足困窮業界の合同説明会や面接会の開催などをしていただきたい。また、公共交通機関の充実（バス等の増便）で国道365号付近の渋滞緩和ができれば通勤圏外からの通勤増や働き方改革の一環にもなると思う。
理化学機械器具製造業	補助金もありがたいが、社会保険料などの負担を減らしてくれると助かる。
時計・同部分品製造業	中小企業への融資制度（低金利・長期間）の充実を望む。
看板・標識機製造業	社会保険料等、税負担が重すぎて可処分所得が減少し、賃上げでは追いつかない。実質的な増税となっているので、時限的に税金を下げるなどの措置が必要となっている。

# 【卸売業】①



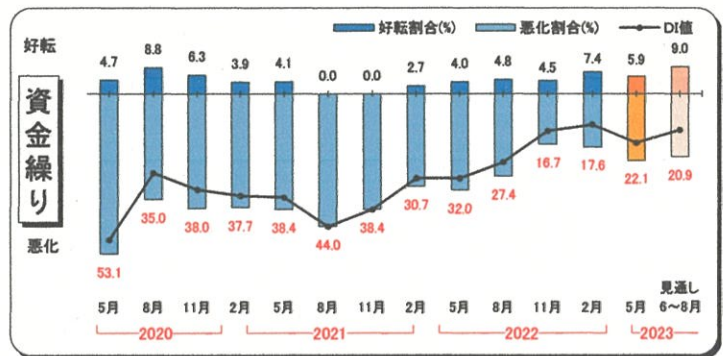
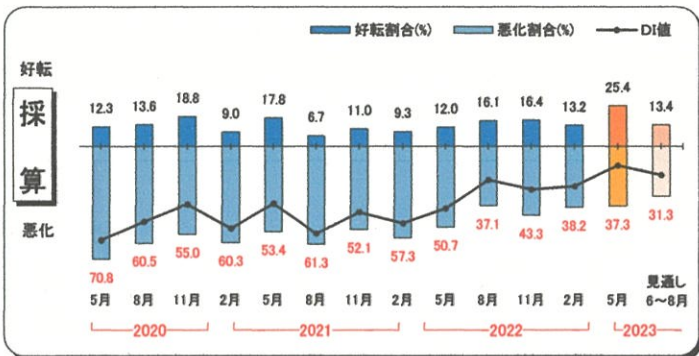
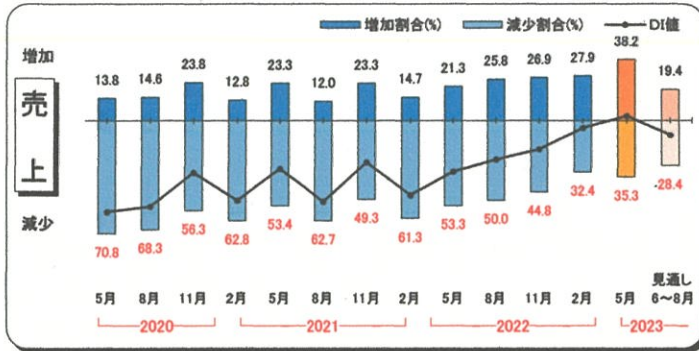
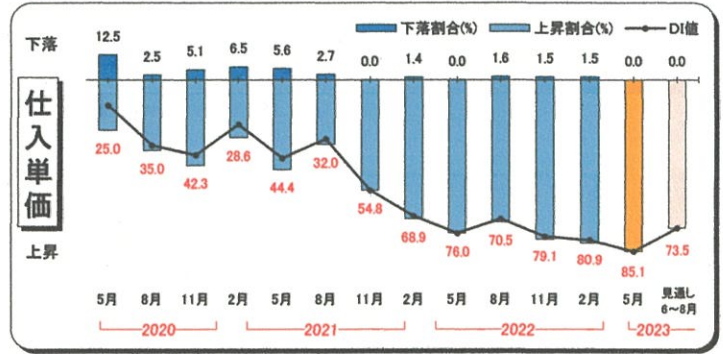
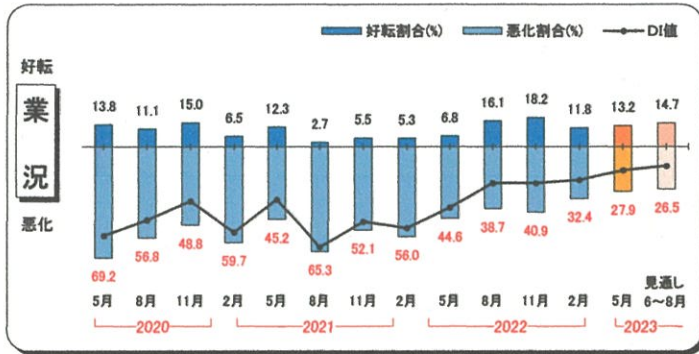


## 【卸売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

靴・履物卸売業	過度な円安を是正し、物価安定（1ドル120円位）を願う。
雑穀・豆類卸売業	コロナ不況も回復していない中、コスト高騰で大変な経営状態が続いている。また「給料を上げろ」との要望があるが、実際には現在の売上では厳しい。
乾物卸売業	インボイス制度は中止して欲しい。また、消費税を減税もしくは廃止して頂きたい。仮に一時的に税収が減っても、需要拡大や収益上昇につながれば、全体の税収は増加する筈である。
牛乳・乳製品卸売業	法人税減税
食料・飲料卸売業	国民の所得が増える政策をしてほしい。
食料・飲料卸売業	ようやく売上が回復して来たので、この上昇機運を維持する施策を続けて欲しい。
その他の建築材料卸売業	インボイス制度は反対。
建設機械・鉱山機械卸売業	利子補給をもっと充実させて欲しい。
事務用機械器具卸売業	国が給与アップを推奨しているが、公共機関は価格競争を推奨しているため、価格が上がらない。どの様にしてベースアップをすればよいか、考えを教えて欲しい。競争の原則は理解しているが、公共の購入はただ安ければいいとしか思えない。企業存続の為にも方法を考えて欲しい。

# 【小売業】①



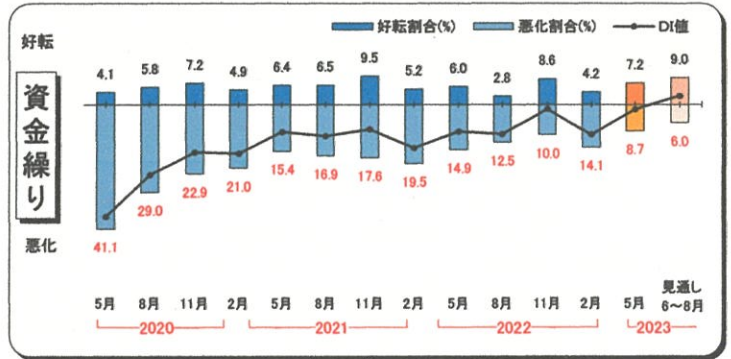
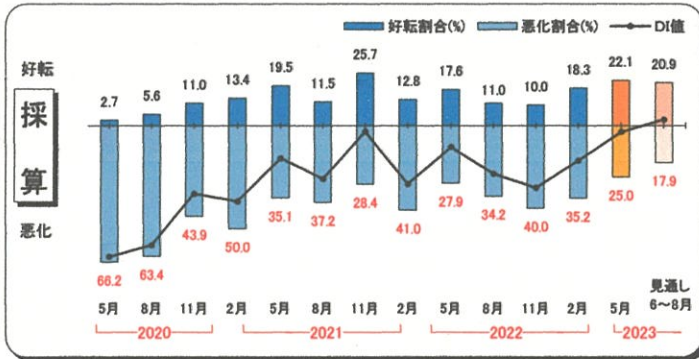
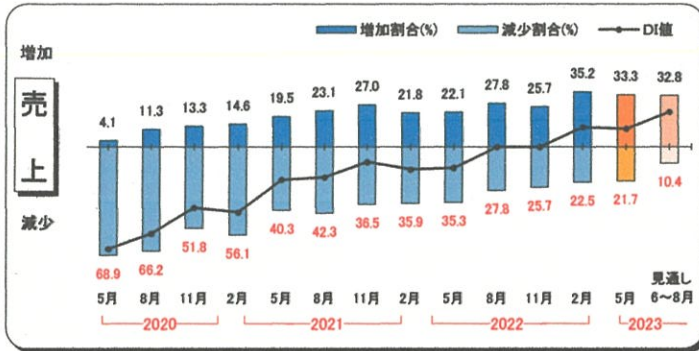
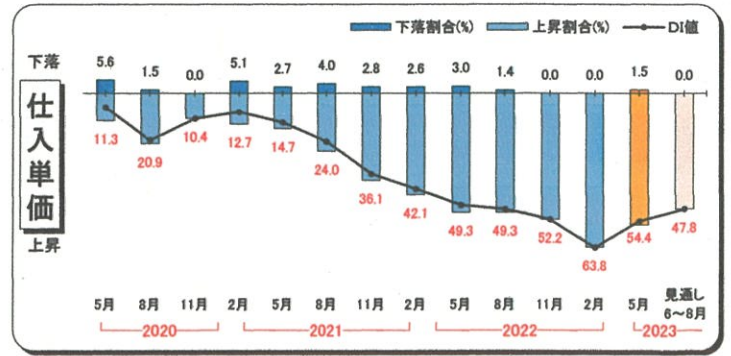
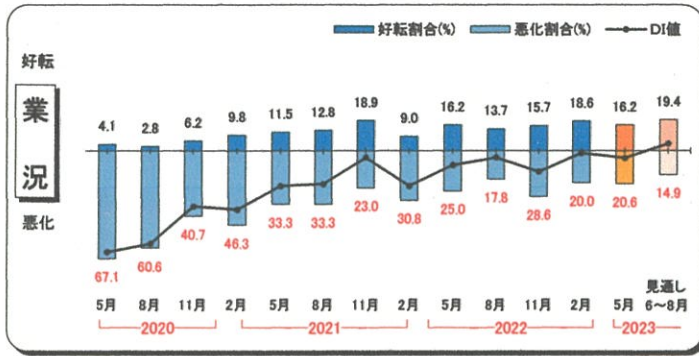
## 【小売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

百貨店・総合スーパー	主にエネルギーコスト上昇への対策を期待する。
各種食料品小売業	旅行業界の支援が続いているのに不公平感を感じる。
電気機械器具小売業	中小企業が生き残れる支援等を期待している。
医薬品小売業	人件費はこれ以上増やせないものの、退職する人もいるので苦勞している。
調剤薬局	医薬品の品切れが続いている。国の支援や指導で改善してもらいたい。
ガソリンスタンド	原油価格高騰及びインフレの影響による業績悪化に対し、支援金や補助金のほか消費税免除などの特例を設けていただきたい。
燃料小売業	当業界の価格転嫁の問題が最大の課題。競合他社は安売りのため値上げ出来ないの で、大手企業の一人勝ち状態となっている。
スポーツ用品小売業	期間限定でも構わないので、減税して欲しい。



# 【サービス業】①



## 【サービス業】②

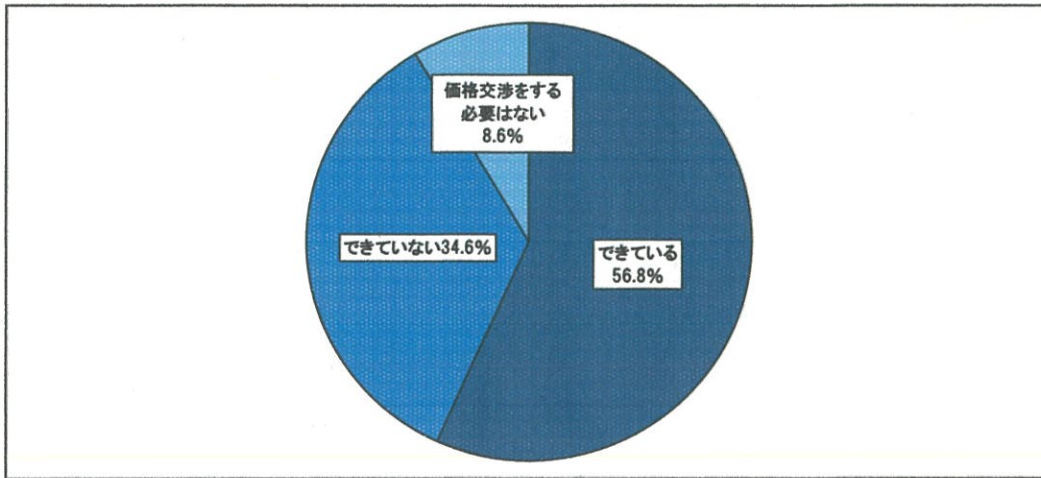
### 企業の声（日本標準産業分類順）

情報処理サービス業	中小企業者のM&A支援や統合支援をお願いしたい。
貸事務所業	客引きの目立つ行動や看板等の道路への出し方等について対策してほしい。
建設設計業	経済の成長率を上げるための政策を国に要望する。
旅館・ホテル	新型コロナウイルス感染症は5類へ変更となり漸く収束したが、水道光熱費や原価の高騰のため折角客足が戻って売上がプラスになっても結局収支はかえって悪化してしまう傾向にある。暑い夏で更に水道光熱費が上がれば経営はまた一層厳しくなるものと思われる。政府・県・市には早急に具体的な対策を出して頂くよう要望する。
旅館・ホテル	宿泊やレストラン利用については食事券等の政策が奏功したと感じられた。今後は飲食を伴う宴会に対しての施策を切望する。例えば、1人5,000円以上の宴会に対し3割を負担する等、即効性のあるものを期待する。
専門料理店	セーフティーネットの強化を含めた救済対策の必要を感じる。何故なら新型コロナウイルス感染症が流行して以降、借金の返済に苦しんで倒産する会社が増えていたり、また円安による輸入コストの上昇で原材料や部品が値上がりして困っている会社が多く見受けられるため。
その他の自動車整備業	設備投資に対する助成金は1台目の機械しか対象とならないものが多い。従業員の人数を増やしつつ時短勤務を目指す会社には2台目、3台目の機械が必要である。そうした拡大に対する助成金の創設をお願いしたい。

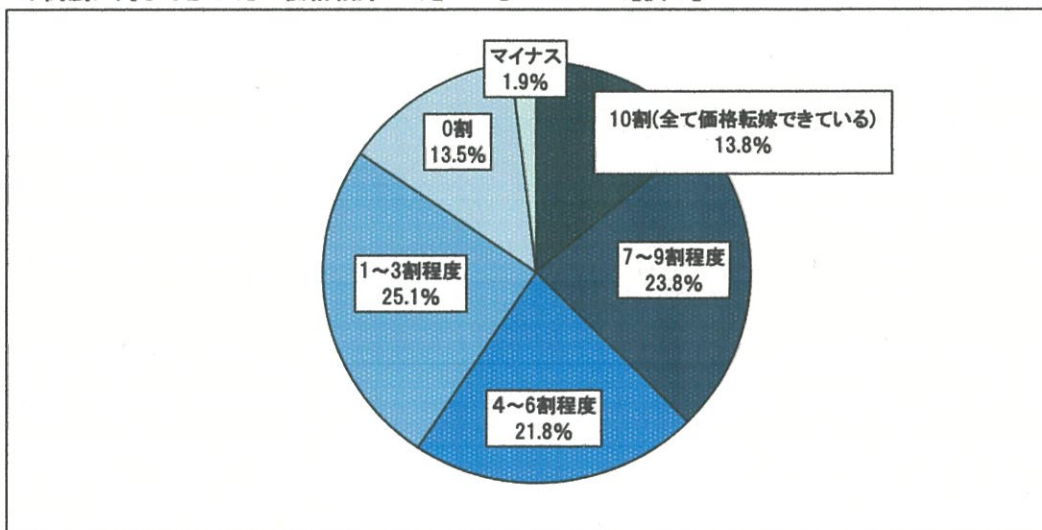
## 付帯調査結果

「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」

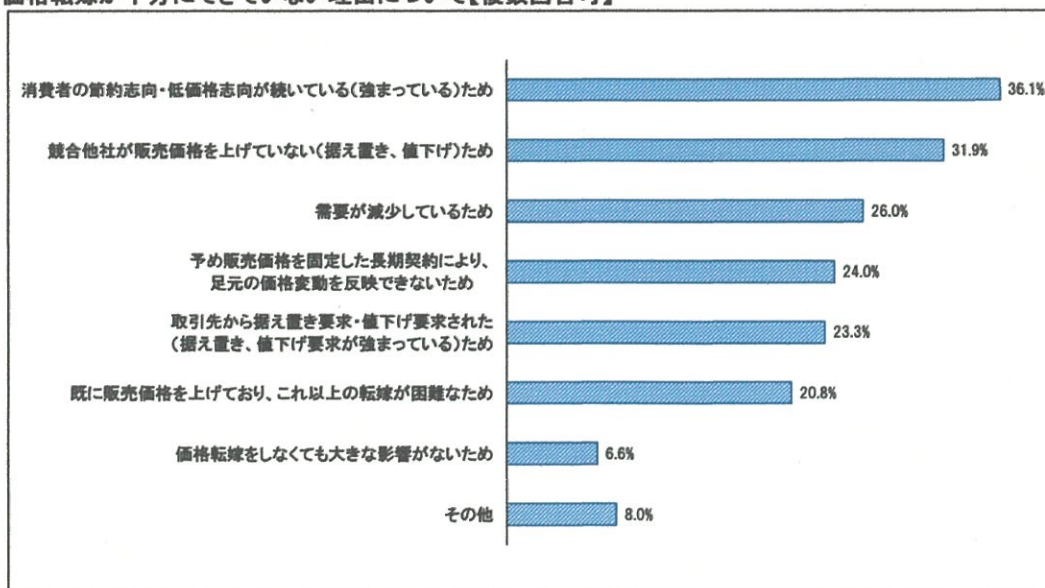
(1)発注側企業と十分に価格交渉(相談)ができているかについて【択一】



(2)コスト高騰に対してどのくらい価格転嫁ができているかについて【択一】

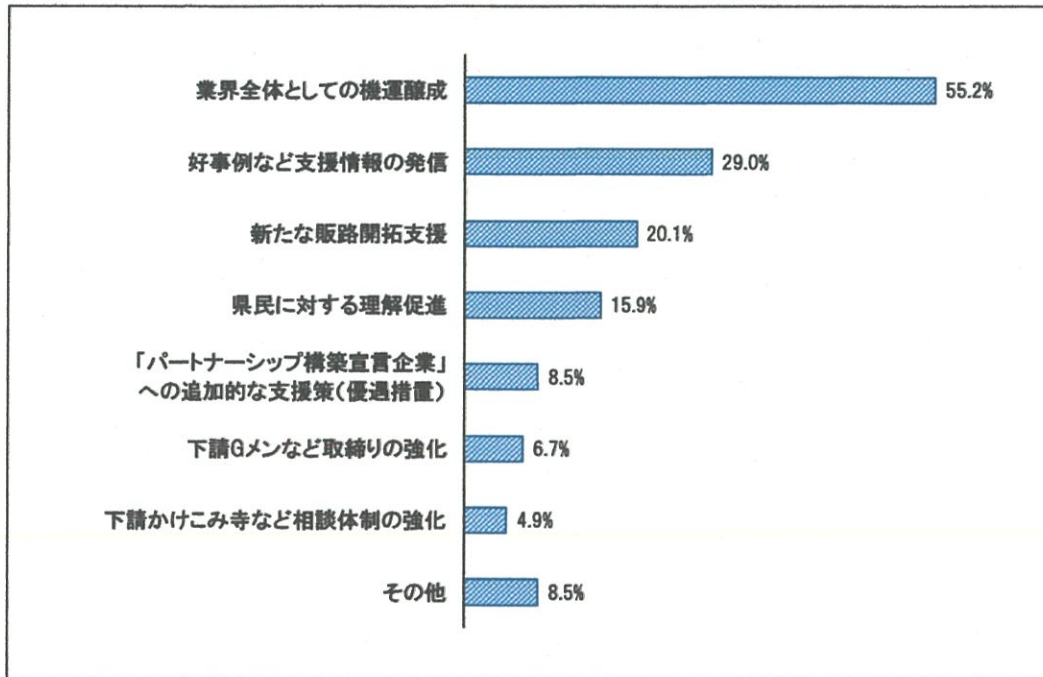


(3)「設問(2)」で「10割(全て価格転嫁できている)」以外の回答をした企業に伺った。価格転嫁が十分にできていない理由について【複数回答可】



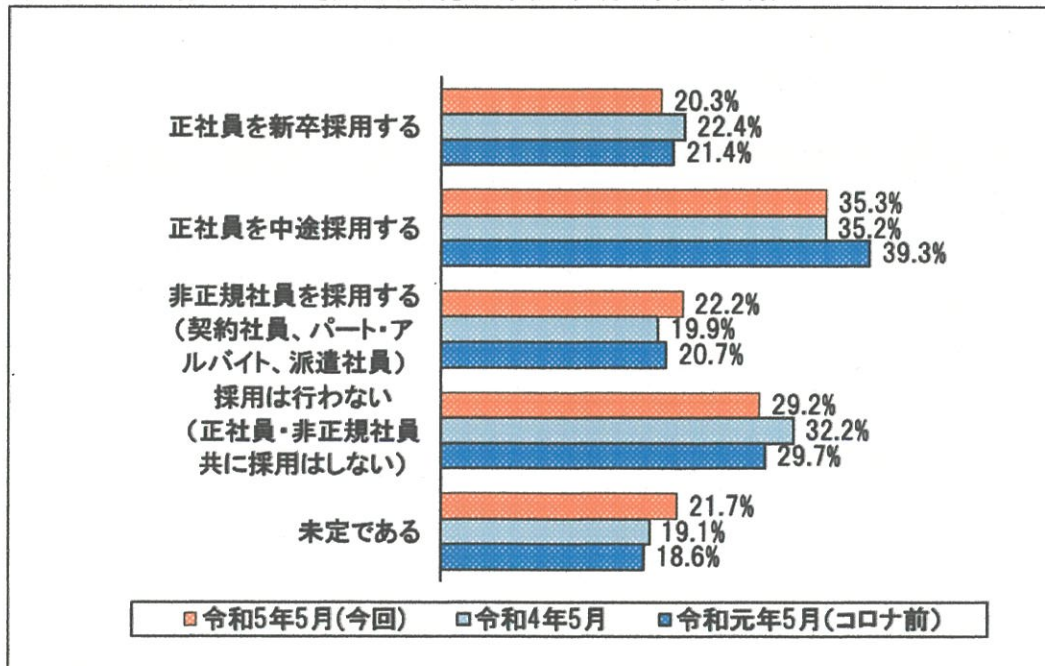


(4)価格転嫁を進めるため、行政(国・県・市)に期待する支援等について【複数回答可】

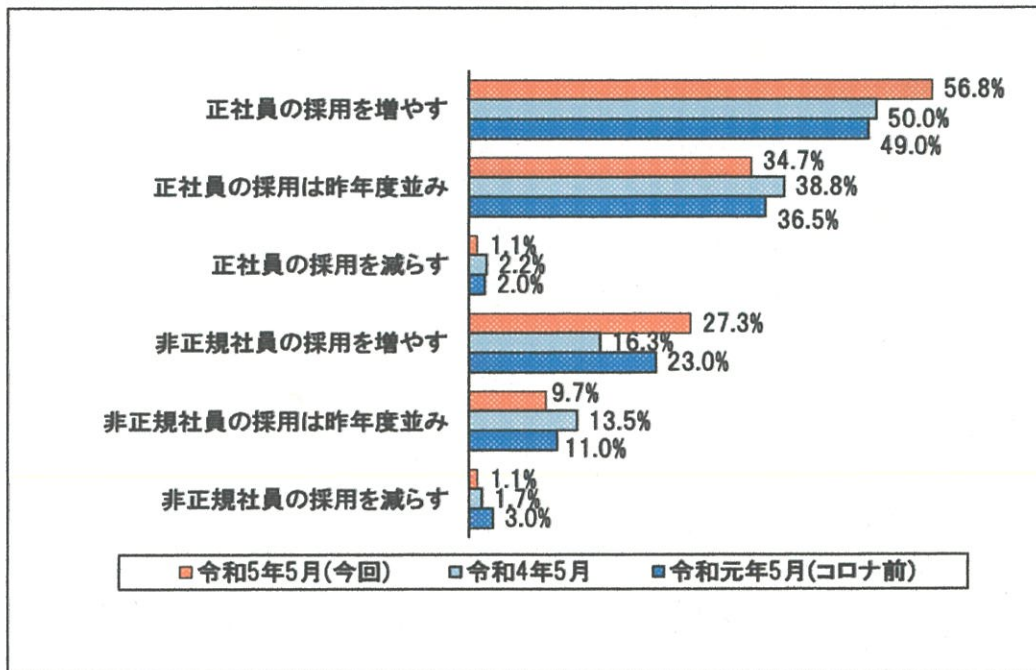


「人材採用について」

(1)令和5年度(※)の採用について【複数回答可】(※令和5年4月～令和6年3月)



(2)「設問(1)」で「正社員、非正規社員を採用する」と回答した企業に伺った。  
昨年度と比較した今年度の採用方針について【複数回答可】







"先行地戻進し"DIの推移

(1) 東京

Table for Tokyo (1) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.

(2) 北上

Table for Tokyo (2) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.

(3) 熊本

Table for Tokyo (3) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.

(4) 佐入

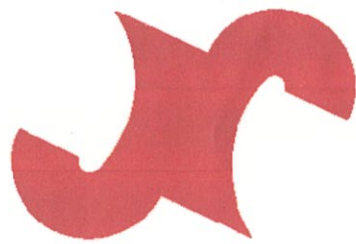
Table for Tokyo (4) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.

(5) 熊本

Table for Tokyo (5) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.

(6) 熊本

Table for Tokyo (6) showing DI trends for various months from 27/5 to 5/6, with columns for month and DI value.



【お問い合わせ】  
千葉商工会議所  
総務企画部 企画広報課  
〒260-0013  
千葉市中央区中央 2-5-1  
TEL: (043) 227-4103  
Mail: chosa@chiba-cci.or.jp

